

# かわら版

発行・編集:多摩市永山地域連絡会  
事務局:多摩市中部地域包括支援センター  
電話:042-375-0017  
令和2年1月20日発行

令和に入り、第2回目の永山地域連絡会を10月24日に行いました。前回から「つながる」をテーマに話し合いを行い、今回は地域でつながるために、それぞれの活動・イベント時期の確認・情報共有を行いました。

「永山モデル」からの今までの振り返り～多摩市高齢支援課 水谷主査より

H28年5月から「永山モデル」が始まり、通算14回目になります。立ち上げを振り返ると永山地域は高齢者人口と要介護認定者数が市内でも特に多いエリアであった為、地域で支え合える包括ケアシステムを構築しようと市が主導で企画しました。第1回目のテーマは「今こそ私たちの底力。皆で支える永山モデル」でした。第1回目の話し合いの中で4つの柱ができました。①見守り活動、②居場所や通いの場づくり、③多世代交流、④生活支援です。

①見守り活動については、見守り相談窓口が開設され、見守り協力員も増えてきており、少しずつ輪が広がっています。②居場所や通いの場づくりについては見守り協力員や介護予防リーダーの活動や地域包括支援センター・見守り相談窓口の交流スペースという形で動いています。③多世代交流については「カレーの日」や永山小学校と永山3-1ふれあいサロンの交流等少しずつ実現が叶っています。④生活支援についてはサポートセンター立ち上げが実現しました。



## 「つながり」が広がっています ～ 永山地域連絡会に参加してくれました～

### あい小規模多機能施設こもれび

介護保険サービスの地域密着型に位置づけられる複合サービスの拠点が、西永山中学校跡地に11月からはじまりました。



### NPO 法人あしたや共働企画

ハンディを持つ者も持たない者も、地域の中で共に生き、共に働くことのできる社会の実現を目指して、諏訪名店街で自然食品や雑貨・お弁当を販売しています。



### 永山児童館

小・中学校、幼稚園、保育園、公園に囲まれ、子どもたちの「遊び場」として恵まれた環境にある施設です。地域の子どもたちに選ばれた「とも～る(友+all=すべてみんなともだち)」の愛称で親しまれています。



# 「つながる」ことができるイベント ～ グループワークで確認作業をしました ～



## グループワークを終えて

**ネコサポ**：貝取店とくらべると永山店の方が圧倒的に、イベント量が多い。イベントは誰の為のものなのか再確認していく事が大切

**介護予防リーダー**：このような行事やイベントは必要です。でも皆に周知することが必要です

**福祉亭**：沢山イベントがあるのは良い事。大切なのは地域の皆さんに情報が共有できるかであると思う。

まとめ **高齢支援課戸川係長**より

多くのイベントが行われ素晴らしく思います。「つながる」という事が大切だと思います。誰の為のイベントかが大切で、また、イベント後、参加した人が何を持ち帰れるのかが大切と思っています。また（イベントを行う上で）困っている事も共有していきたいと思っています

## 秋祭り（永山商店街）

10月12日に開催でありましたが、大型台風の接近があり、急遽、秋刀魚焼きのみ開催となりました。前日11日から前倒しで始め始め、2日間で1300匹を焼ききりました。無事に終わりましたが、天災時には無理せず休みにするべきとの意見もありました。台風の中、人が来てくれたのは、当日若い世代の方がtwitterで広めてくれた影響もありました。



## 東京都見守り相談窓口情報交換会

～事例発表～

10月30日見守り相談窓口早田が『実態把握訪問から地域づくりへ』をテーマに、東京都見守り相談窓口職員や行政職員へ地域活動の取り組み内容・地域交流スペースの相談内容などを発表してきました。取り組みに他区市町が興味をもたれ、今後見学の予約も入っています。

次回、第3回の永山地域連絡会は

**4月開催予定でありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、延期とさせていただきます。再度日程が決まりましたら、連絡させていただきます。**